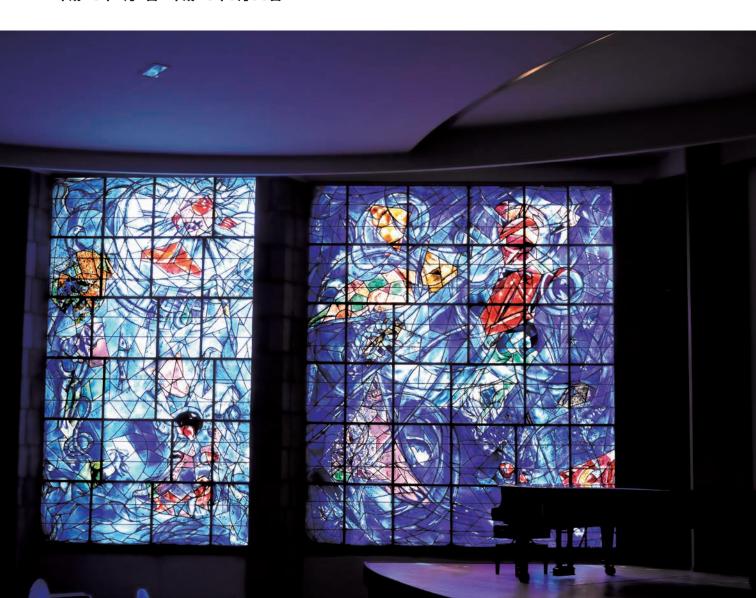


平成26年4月1日~平成26年9月30日

2014年冬

**No.77** 

証券コード: 7942





代表取締役社長 塚本 耕三

JSPニュース No.77 Contents	
社長メッセージ 01   特集 03   連結財務ハイライト 07   連結セグメント情報 08   要約連結財務諸表 09   トピックス 12   JSPカレンダー 13   株主優待制度/配当実績 16   会社情報 17	
表紙の写真	

## 市場環境の変化に果敢に挑戦し、

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成27年3月期 第2四半期連結累計期間における日本 経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減は後 半にかけて薄れましたが、円安進行による原燃料高や夏場 の天候不順の影響等もあり需要の回復は限定的でした。

世界経済は、米国では、寒波の影響を主因に一時的にマイナス成長となったものの、堅調な個人消費や住宅市場の回復もあり景気は拡大基調で推移しました。欧州では、緩やかな景気回復が続きました。アジアでは、中国の成長率の鈍化やタイの一時的な景気減速がありましたが、地域全体としては依然高い成長が継続しました。

国内発泡プラスチック業界におきましては、原燃料価格・電力料金・輸送費の上昇、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減、天候不順による需要減などにより厳しい状況が続きました。

このような経営環境下において、当社グループは、自助努力によるコスト低減はもとより、製品価格是正に努めると共に、独自技術に基づいた付加価値の高い製品の販売に注力しました。

次に、各事業本部の状況についてご説明します。

まず、押出事業の第一事業本部ですが、液晶テレビ基板や家電輸送用に用いられる産業用包材の発泡ポリエチレンシート「ミラマット」は、消費税増税後の反動による大型家電等の耐久消費財の需要減の影響もあり売上は減少しました。

食品容器関連の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」は、堅調な需要に支えられ売上は増加しました。

建築・土木関連の発泡ポリスチレン押出ボード「ミラフォーム」は、建築分野では、消費税増税後の需要の反動減による戸建住宅や分譲マンションの新規着工件数の減少により売上は減少しました。また、土木分野では、震災

## 着実な事業拡大に取り組んでまいります。

からの復興需要を始め、全国的な需要増もあり売上は増加しました。

国内における度重なる原燃料価格の上昇に対する製品 価格是正については、電力料金や輸送費の値上がりへの 対応もあり時間を要しています。このため一部損益改善 に遅れが生じました。

これらの結果、押出事業の第一事業本部の売上高は前年同期比6.4%増の20,009百万円となり、営業利益は同22.3%減の698百万円となりました。

次に、ビーズ事業の第二事業本部では、世界各国で製造販売している自動車部品、住宅設備向け保温緩衝材、IT製品輸送用通い函・家電製品用緩衝材・競技用グラウンド基礎緩衝材に使用されている発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は、自動車の新規部品の採用拡大や家電包材緩衝材の需要拡大により堅調に推移しました。

国内では、軽自動車への採用拡大や住宅設備向け保温 緩衝材の需要拡大もありましたが、自動車・家電市場の 低迷により売上は減少しました。

北米では、当連結累計期間前半までは記録的な寒波の影響により自動車販売台数は大きく落ち込みましたが、その後の景気回復による自動車部品の需要増もあり売上は増加しました。南米では、景気減速による自動車販売台数の落ち込みにより売上は減少しました。欧州では、景気回復を背景とした自動車部品の需要増により売上は増加しました。中国を始めとするアジア諸国では、自動車及び家電市場が高い成長を維持したことや新規需要の拡大により売上は増加しました。

発泡性ポリスチレン「スチロダイア」は、主用途の水産・農業分野が天候不順の影響により需要は低調でしたが、建材・土木分野及び家電分野の需要が堅調であったことから売上は前年同期並みとなりました。

国内における製品価格是正への対応及び影響について

は、押出事業と同様な状況です。

これらの結果、ビーズ事業の第二事業本部の売上高は 前年同期比5.8%増の34,953百万円、営業利益は同5.0 %増の2,289百万円となりました。

これらの結果、その他を合わせた当第2四半期の売上高は、前年同期比7.0%増の58,266百万円となりました。営業利益は同4.5%減の2,673百万円、経常利益は同5.1%減の2,936百万円、四半期純利益は同5.3%減の2,157百万円となりました。

次に、通期連結業績予想につきましては、売上高は概ね予想通りに進捗する見通しですが、国内における①原燃料価格並びに電力料金及び輸送費の値上がりに対する製品価格是正の遅れ、②消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減が当初見込みを上回る見通しとなったことにより、通期の売上高及び利益は前回発表の予想値を下回る見込みとなり、下記のとおり修正しました。

平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値	117,000	7,100	7,200	4,900	164.35
今回修正予想值	115,500	6,000	6,200	4,200	140.88

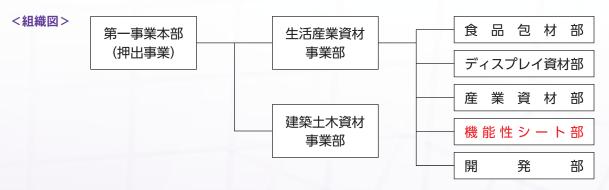
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導 とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

塚本耕三

## 機能性シート部を発足しました

- 当社では1986年に三菱瓦斯化学株式会社と共同でアクリル系無発泡シート(アクリエース®MS)の製造を開始、 1996年には共同で日本アクリエース株式会社を設立するに至りました。
- この度2014年7月1日をもって日本アクリエース株式会社より事業を譲り受け、JSPとして初めて無発泡製品の取扱を始めました。今回は生活産業資材事業部のラインナップに新たに加わった製品についてご紹介いたします。





生活産業資材事業部長 若林 功一

機能性シート部は従来JSPの製品群には無かったアクリル系無発泡板を扱い、光学分野・建材分野へ展開しております。またこれからは日本アクリエースで培った共押出技術とJSP発泡技術の融合に挑戦し、皆様の身近でお役に立てる新製品開発を行ってまいります。

### 工場外観写真



鹿沼第三工場



## 機能性シート部の製品はこんなところに使われています

当社ではアクリエース®MS(MS樹脂押出板)を様々な分野へ展開しています。

## ディスプレイ材

アクリル板同様の高い透明感と優れたインク密着性から UVインクジェットプリンター向けメディアとしてご好 評いただいています。





## 建築資材

まるですりガラスのような外観の樹脂板はドア 用面板として幅広くご採用いただいています。





## 光学部材

多層成形、光拡散技術によりプロジェクションスク リーン部材としてご利用いただいています。

ーお問い合わせ窓口ー

株式会社JSP 生活産業資材事業部 機能性シート部 TEL: 03-6212-6332 FAX: 03-6212-6336

## JSPの農業資材

今回で第3回目となる誌上工場見学では、青果物の栽培や保護用に使用される農業資材をご紹介します。

当社は、1960年代より農業資材の開発・販売に着手し、1970年代より、代表的なミラネットの生産を開始しました。 当初は主に青果物の保護用に使用されておりましたが、生産開始から40年以上たった現在では、保護用以外にハウス 栽培や水稲育苗の保温材など様々な用途に合わせた製品を数多く生産しています。今回はその中でも、皆様も一度は手 にしたことのある青果物の保護用農業資材がどのようにして作られているのかご紹介します。

## 【製造工場】

九州工場 (熊本県熊本市)







九州工場で生産しています。 ※グループ会社である(株)ミラックス(栃木 県鹿沼市)でも生産しています。

## <ミラネットができるまで…>

## STEP1 -原料投入-



(ポリスチレン) (ポリエチレン) 原料(ポリスチレン+ポリエチレン)、発 泡剤を押出機に投入します。

### STEP2 - 混練押出-



投入した原料を練り合わせ、押し出せる 状態にし、ネット状に押し出します。

### STEP3 一裁断一



指定の長さに断裁します。

## <様々な農業資材があります>

### ミラマット

箱詰めされた果実の下に敷き、輸送中の衝撃から果実を守ります。 ミラネットと一緒に使用することで、より果実を傷めず美味しいまま 届けることができます。

#### <通年> いちご <冬> <春>

トマト

りんご

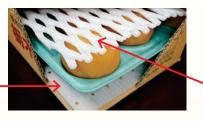
農業資材の出荷例(用途別)

小玉すいか メロン

<秋> 洋梨 柿、梨 りんご

<夏> 梨、桃 ぶどう









## ミラネット

箱詰めされた果実を輸送中の衝撃から守ります。ネッ ト状になっているため通気性があります。果実を生産 地から大切に皆様の元へお届けします。





## Pマット(果実トレー)

様々な果実の形とサイズに合わせたトレー。 とても肌触りがよく、傷つきやすい果物を守ります。

### STEP4 - 養生-



台車に積み、通気性を確保して養生します。

## STEP5 一出荷·



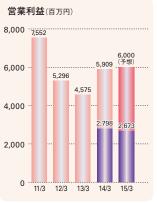


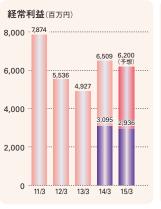
出来上がったミラネットは倉庫に保管され、注文を受けたら出荷されます。

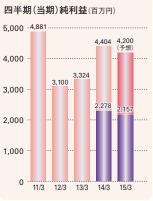


(単位:百万円)	2011/3	2012/3	2013/3	2013/9	2014/3	2014/9
売 上 高	91,971	93,397	96,038	54,465	112,128	58,266
営 業 利 益	7,552	5,296	4,575	2,798	5,909	2,673
経 常 利 益	7,874	5,536	4,927	3,095	6,509	2,936
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	4,881	3,100	3,324	2,278	4,404	2,157
純 資 産	46,481	47,362	53,431	58,443	62,375	63,757
総 資 産	89,152	89,072	95,565	102,285	108,420	109,588
(単位:%)						
売 上 高 営 業 利 益 率	8.2	5.7	4.8	5.1	5.3	4.6
売 上 高 経 常 利 益 率	8.6	5.9	5.1	5.7	5.8	5.0
売上高四半期(当期)純利益率	5.3	3.3	3.5	4.2	3.9	3.7
(単位:円)						
1株当たり四半期 (当期) 純利益	161.25	103.98	111.49	76.42	147.73	72.36
1 株 当 た り 純 資 産	1,470.44	1,499.89	1,671.55	1,825.12	1,940.48	1,983.51
(単位:百万円)						
設 備 投 資	3,368	6,006	6,215	3,649	8,735	4,002
減 価 償 却 費	4,582	4,607	4,390	2,290	4,865	2,523









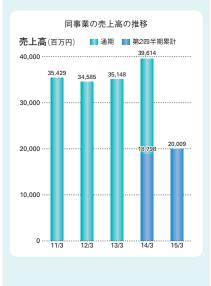


### 押出事業

原燃料価格の上昇に対する製品価格是 正が一部遅れたため、増収減益となり ました。



ミラフォームラムダ(断熱材)



### ビーズ事業

「ピーブロック」の世界的な採用拡大、需要拡大により、増収増益となりました。



ピーブロック(自動車部材)



※2011年4月より、これまで「その他」に区分しておりましたスーパーブロー並びにスーパーフォームは、ビーズ事業に移管しております。

### その他

### 国内一般包材

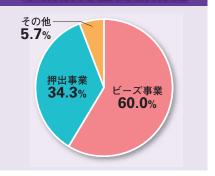
消費税増税後の需要の反動減がありましたが、売上は増加しました。

### 中国一般包材

液晶テレビ向け新規包材の採用により 売上は増加しました。



## 事業別売上高構成比



## 要約四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	(資産の部)	当第2四半期 2014年9月30日現在	前第2四半期 2013年9月30日現在	前年同期比增 減 額
O	流動資産	60,099	56,869	3,230
	現金及び預金	11,485	11,940	△ 454
	受取手形及び売掛金	31,866	30,568	1,298
	有価証券	9	32	△ 23
	商品及び製品	7,067	6,360	706
	仕掛品	1,116	889	226
	原材料及び貯蔵品	4,410	4,130	280
	その他	4,565	3,266	1,299
	貸倒引当金	△ 422	△ 319	△ 103
2	固定資産	49,488	45,415	4,072
	有形固定資産	45,416	41,238	4,177
	建物及び構築物	13,177	12,202	975
	機械装置及び運搬具	13,727	11,699	2,027
	土地	14,318	14,108	210
	その他	4,193	3,228	964
	無形固定資産	942	1,081	△ 138
	投資その他の資産	3,129	3,095	33
	 投資有価証券	1,757	1,712	45
	その他	1,396	1,406	△ 9
	貸倒引当金	△ 24	△ 22	△ 1
	資産合計	109,588	102,285	7,302

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### ● 流動資産

流動資産は、前年同期比3,230百万円増の60,099百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が1,298百万円増加したこと等によるものです。

#### 2 固定資産

固定資産は、前年同期比4,072百万円増の49,488百万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が4,177百万円増加したこと等によるものです。

	(負債の部)	当第2四半期 2014年9月30日現在	前第2四半期 2013年9月30日現在	前年同期比增 減 額
	流動負債	31,906	30,948	958
	支払手形及び買掛金	10,603	9,947	656
	短期借入金	7,677	7,150	526
	1年内返済予定の長期借入金	5,244	4,639	605
	その他	8,380	9,209	△ 829
<b>3</b>	固定負債	13,924	12,893	1,030
	長期借入金	11,498	10,497	1,000
	その他	2,426	2,396	30
	負債合計	45,831	43,841	1,989
	(純資産の部)			
	株主資本	60,976	57,103	3,872
	資本金	10,128	10,128	_
	資本剰余金	13,405	13,405	_
	利益剰余金	38,817	34,942	3,875
	自己株式	△ 1,375	△ 1,373	△ 2
	その他の包括利益累計額	△ 1,840	△ 2,687	846
	その他有価証券評価差額金	176	183	△ 6
	為替換算調整勘定	△ 1,563	△ 2,870	1,306
	退職給付に係る調整累計額	△ 453		△ 453
	少数株主持分	4,621	4,027	594
4	純資産合計	63,757	58,443	5,313
	負債及び純資産合計	109,588	102,285	7,302
	注)記載全類け五万円未満を切り	<b>全てて表示して</b>	おります	

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### **3**固定負債

固定負債は、前年同期比1,030百万円増の13,924百万円となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が1,000百万円増加したこと等によるものです。

#### 4 純資産及び自己資本比率

純資産は、前年同期比5,313百万円増の63,757百万円となりました。また、自己資本比率は54.0%となりました。

## 要約四半期連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)

		*********		
	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前年同期比 増 減 額	
売上高	58,266	54,465	3,801	6
売上原価	44,250	40,737	3,512	
売上総利益	14,016	13,728	288	
販売費及び一般管理費	11,342	10,929	412	
営業利益	2,673	2,798	△ 124	6
営業外収益	412	463	△ 50	
営業外費用	149	166	△ 16	
経常利益	2,936	3,095	△ 159	6
特別利益	33	46	△ 12	
特別損失	22	22	0	
税金等調整前四半期純利益	2,947	3,118	△ 171	
法人税等	627	742	△ 114	
少数株主損益調整前四半期純利益	2,319	2,376	△ 57	
少数株主利益	161	97	64	
四半期純利益	2,157	2,278	△ 121	6
				-

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 6売上高

国内では消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減は後半に かけて薄れましたが、円安進行による原燃料高や夏場の天候不 順の影響等もあり需要の回復は限定的でした。

海外では、米国が、寒波の影響を受けたものの、個人消費や住宅市場の回復もあり景気は拡大基調で推移しました。欧州では、緩やかな景気回復が続きました。アジアでは一部地域を除き依然高い成長が継続しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、58,266百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

### ·**6**営業利益、経常利益、四半期純利益

国内業界では、原燃料価格・電力料金・輸送費の上昇、消費税率 引上げに伴う駆け込み需要の反動減、天候不順による需要減な どにより厳しい状況が続きましたが、コスト低減及び製品価格 是正に努めると共に、付加価値の高い製品の販売に注力しまし た。これらの結果、営業利益は2,673百万円(前年同期比4.5% 減)、経常利益は2,936百万円(同5.1%減)、四半期純利益は 2.157百万円(同5.3%減)となりました。



Summary of Consolidated Financial Statements

## 四半期連結包括利益計算書(累計)

(単位:百万円)

	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前年同期比增 減 額
少数株主損益調整前四半期純利益	2,319	2,376	△ 57
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△ 1	44	△ 46
為替換算調整勘定	△ 993	2,963	△ 3,956
退職給付に係る調整額	62	_	62
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0	0
その他の包括利益合計	△ 932	3,007	△ 3,940
四半期包括利益	1,386	5,384	△ 3,998
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益	1,250	5,025	△ 3,775
少数株主に係る四半期包括利益	136	358	△ 221

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 要約四半期連結キャッシュ・フローの状況 (累計) (単位:百万円)

			当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前年同期比增 減 額
ſ	7	営業活動によるキャッシュ・フロー	1,551	2,362	△ 810
H	8	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,998	△ 3,531	△ 466
	9	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,924	1,074	850
		現金及び現金同等物四半期末残高	6,211	7,402	△ 1,191

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### ・②営業活動によるキャッシュ・フロー

増加要因である税金等調整前四半期純利益2,947百万円、減価償却費2,523百万円などに対し、減少要因である売上債権の増加1,700百万円、法人税等の支払額1,256百万円、たな卸資産の増加530百万円、仕入債務の減少524百万円などにより、差引き1,551百万円の収入(前年同期比810百万円減少)となりました。

#### -8投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出4,002百万円などにより、3,998 百万円の支出(同466百万円増加)となりました。

### 切財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入4,000百万円、短期借入金の純増による収入1,077百万円に対し、長期借入金の返済による支出2,506百万円、配当金の支払額447百万円などにより、差引き1,924百万円の収入(同850百万円増加)となりました。

**Topics** 

## 新製品

世界初の技術!フィルムを使わない模様付き発泡シート・ボード

# 「PSP木目」「ミラボードグレイン®」



## ●印刷フィルムを使用しない。

・従来、木目等の模様が付与されたPSP、ミラボード®は、 二次加工によって印刷フィルムを熱ラミネートして います。今回JSPの新技術によって、二次加工する事 無く、また高価な印刷フィルムを使用する事無く、木 目模様を付与する事を可能としました。

## ●環境にやさしい。

•一般的な木目柄の印刷フィルムでは、有機溶剤が大気中に揮発しています。PSP木目、ミラボードグレイン®の場合はインクを使用しない(顔料のみ使用)ので、有機溶剤の揮発はありません。

## ●良好な成形性、加工性。

• PSP木目は一般PSPと同様の感覚で真空成形が可能で、成形品の強度も一般PSPと同等です。ミラボードグレイン®も一般ミラボード®と同様に折箱への加工が可能です。



- お問い合わせ窓口-

### PSP木目:

株式会社JSP 生活産業資材事業部 食品包材部シートグループ TEL:03-6212-6332 ミラボードグレイン®:

株式会社JSP 生活産業資材事業部 ディスプレイ資材部折材グループ TEL:03-6212-6337

## 2014



### 7月1日付け 機構改革

第一事業本部生活産業資材事業部機能性シート部を発足致しました。 詳細は「特集 機能性シート部の紹介」をご覧ください。

### 「"OPA!陽気な黙示録"凱旋展」の開催に協力

7月11日~31日の間、伊藤忠青山アートスクエアで開催された「"OPA!陽気な黙示録" 凱旋展」に当社及びグループ会社の本州油化株式会社が展示の一部を協力致しました。





### 「SMBC日興証券㈱主催

### 個人投資家向け説明会 (宮崎支店)」を開催

7月18日、SMBC日興証券㈱が主催し、宮崎支店で開催された「個人投資家向け説明会」に参加致しました。



### 「平成27年度3月期 第1四半期決算短信」を発表

7月30日、東京証券取引所にて平成27年度3月期第1四半期決算短信を報告し、対外発表致しました。

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成27年3月期 第1四半期(当期)	28,377	925	1,026	757
平成26年3月期 第1四半期(前期)	26,068	1,052	1,254	930
参考: 平成26年3月期(通期)	112,128	5,909	6,509	4,404



### 「コーポレートガバナンス報告書」の情報を更新

8月4日、「コーポレートガバナンス報告書」の情報を更新し、ホームページへ掲載致しました。

### 「Annual Review2014」\* (英語版) を発行

おもに海外の投資家、取引先様に向けて、平成26年3月期決算の財務諸表などを掲載した「Annual Review2014」(英語版)を発行致しました。





### 「RC報告書2014」\*を発行

平成25年度に当社が取り組んだ環境と安全に関する活動の報告書を発行致しました。当社事業活動における環境安全、保安防災、労働安全衛生、化学品・製品安全、物流安全、社会との対話の具体的な活動について報告しております。

\*「Annual Review」および「RC報告書」はホームページへ掲載しております。 ホームページURL: http://www.co-isp.co.jp/



### 「機関投資家向け工場見学会を開催」

9月18日、機関投資家向けの工場見学会を鹿 沼事業所で開催致しました。



### 9月30日 平成27年3月期第2四半期 決算日

#### 資本金の変更(平成26年9月30日現在)

資本金	平成26年9月30日現在	10,128百万円<増加なし>
	平成26年3月31日現在(前回報告)	10,128百万円
発行済株式総数		31,413,473株



JSP Calendar

## 2014



### 「R&I格付けの更新」

10月10日に格付投資情報センター(R&I)の格付情報の更新(長期BBB+)を行いました。

### 「平成27年3月期 第2四半期決算短信」を発表

10月30日、東京証券取引所にて平成27年3月期第2四半期決算短信を報告し、対外発表致しました。



### 「決算説明会開催」

11月14日 浜松町東京會舘において、アナリスト向け決算説明会を開催致しました。

## 今後の予定

12月11日~13日 東京ビッグサイトにて開催 [エコプロダクツ2014] 出展予定 12月12日 SMBC日興証券主催個人投資家向け説明会 (盛岡支店) 開催予定 2015年1月下旬 平成27年3月期第3四半期 決算短信 発表予定 Shareholder Benefit/Dividend Record

### 株主優待制度



### ■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元 (100株) 以上を保有されている株主様

### ■優待の内容

ー律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード (株主様は3,000円全額ご使用いただけます)

### ■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

### ■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、(公社) 国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

### 配当実績

### ■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

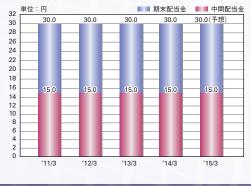
内部留保資金につきましては、財務体質の強化 とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投 資や新規事業展開のための設備投資に充当してま いります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役決議により行なうことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役決議による配当を基本的な方針としております。

### ■当期配当金

平成27年3月期第2四半期の1株当たりの配当金は15円とさせていただきます。また、期末配当金も1株当たり15円(通期配当金額30円)とさせていただく予定です。

### ■配当実績





## 会社概要

商 号 株式会社JSP

所 在 地 本社 東京都千代田区丸の内三丁目4番2号

事業内容 発泡プラスチック、

その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、

土木・建築工事の設計・請負および管理

設 立 1962年(昭和37年)1月

資 本 金 10,128百万円

決算期3月

従業員数 728名(出向者除く)

連結2,734名 (国内1,266名・海外1,468名)

事業所他 5営業所、1出張所、10工場、2研究所

主要関係会社 国内9社、海外28社

### 大 株 主

株 主 名	株数 (千株)
三菱瓦斯化学株式会社	13,212
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,925
シー エム ビー エル, エスエー リ. ミューチャル ファンド	1,359
JSP取引先持株会	1,128
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,077
ジェーピー モルガン チェース バンク 385166	811
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	687
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	617
JSP従業員持株会	420
ビービーエイチ ビービーエイチティーエスアイエー ノムラ ファンズ アイルランド ピーエルシー ジャパン ストラテジツ	260

### 株主メモ

事 業 年 度 4)

期末配当金受領株主 確 定 日

中間配当金受領株主確 定 日

定時株主総会

株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関

同 連 絡

4月1日~翌年3月31日

3月31日

9月30日

毎年6月

₩<del>+</del>0/1

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号 10.0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 公 告 の 方 法 東京証券取引所

電子公告により行う

公告掲載URL http://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

#### (ご注意)

- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式の状況

発行可能株式総数 発行済株式の総数 株 主 総 数

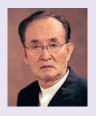
46,000,000株 31,413,473株 13,068名





## 「シャガール美術館講堂」のステンドグラス

## フランス ニース市



<sub>撮影・又</sub> 清 水 準 一(写真家)



アブラハムと三天使

ニース市にある国立マルク・シャガール美術館は、シャガールとアンドレ・マルロー\*1との熱い友情の結実の結果だそうです。

2人は、シャガールがエラスムス賞\*2を取ったのを機に関係が深まり、当時フランス共和国の文化大臣だったマルローはオペラ座の天井画をシャガールに依頼し、1964年に完成しました。

1966年、シャガールは17点の連作「聖書のメッセージ」をフランスに寄贈し、大臣のマルローに報いました。マルローはこの連作を生かすため、ニース市の協力を得て、国立美術館の建設を企画し、1973年に完成させました。この時シャガール86歳、しかも誕生日のオープンと聞いては、感無量の極みだったと思います。

話は少し逸れますが、エコール・ド・パリ※3の最盛期は1920

年あたりと言われていますが、マティスもピカソも画壇に君臨大家となり、同時に居を気候の良い南フランスに構えました。シャガールも20年程ニースで暮らし、今もサン=ポール=ド=ヴァンス\*4の墓地に眠っています。

私たち日本人がエコール・ド・パリの存在を知るのは戦後のことで、美術雑誌「みずゑ」「美術手帳」「芸術新潮」などでしたが、「愛」をテーマにした独自性には圧倒された記憶は今でも強烈に残っています。そして、シャガールの作品は他の大家より掲載される機会が多かったような気がします。

最後に、ストラビンスキー\*\*5の「火の鳥」(バレー音楽) が新宿のコマ劇場で上演された時、私は仰天しました。あの広いコマ劇場の緞帳のデザインを、シャガールがやって退けたのです。

※1 アンドレ・マルロー

フランスの作家、冒険家、政治家。

※2 エラスムス賞

ヨーロッパの文化、社会、社会科学への貢献を評価して毎年授与される賞。

※3 エコール・ド・パリ

1920年代を中心にパリで活動し、出身国も画風もさまざまな画家たちの総称。

※4 サン=ポール=ド=ヴァンス

南フランス、アルプ=マリティーム県のコミューン(基礎自治体)。

※5 フトラビンフキー

ロシアの作曲家。ピアニスト、指揮者としても活躍。

## 本社·事業所一覧

	70			
		本	· 社	<b>2</b>
	〒100-0005	東京都千代田区	【丸の内3-4-2 (新日石ビル)	03-6212-6300
		堂	· !業所	
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北	3条西1-1 (サンメモリアビル)	011-231-2681
仙台	〒980-0811		-番町2-4-1 (仙台興和ビル)	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区銀	3-4-6 (桜通大津第一生命ビル)	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本	町1-6-16 (いちご堺筋本町ビル)	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博	淳多駅東1-12-17 (五幸ビル)	092-411-6854
		出	· ·張所	
広島	〒732-0052	広島市東区光町	「1-12-20 (もみじ広島光町ビル)	082-568-0566
		I	. 場	
北海道	〒067-0051	北海道江別市コ	关町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さ	つき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さ	つき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さ	つき町10-2	0289-76-5905
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さ	つき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さ	つき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂	图638	0289-76-6606
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東	深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市	i大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市	ī北小松町扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市	新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市	ī小倉南区曽根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北	区植木町宮原553	096-274-7101
		矽	究所	
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さ	うつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市	大字六呂見653-2	059-345-1245
		海		
北米			アジア	
JSP International, LL			JSP Foam Products, PTE. Ltd. (	
JSP International de	Mexico, S.A. de C	.V. (メキシコ)	Taiwan JSP Chemical Co., Ltd. (	台湾)
南米		( ) =	KOSPA Corporation (韓国)	
JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda. (ブラジル)			JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd. (中	
欧州			JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd	
JSP International SAI	,		Kunshan JSP Seihoku Packaging I	
JSP International Gm		ツ)	JSP Plastics (Dongguan) Co., Lt	
JSP International s.r.o			JSP Foam India Pvt. Ltd. (インド	)
JSP International o.o.	.0. (ロンア)			



## 発行 株式会社 JSP

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル

広報IR室 TEL.03-6212-6306 FAX.03-6212-6302 ホームページ www.co-jsp.co.jp



